

Contents

はじめに	2
本書の構成と使い方	9

Chapter 1 生命科学・生物医学分野のミス

校正にトライ	14
1 スタイルや慣例のミス	21
ミス1 一般性のない略語や誤った略語・略号を使う	21
ミス2 化学・生化学用語の表記が不正確	25
ミス3 ジャーナルの指定とは異なる単位を使う	30
ミス4 大文字と小文字の使い分けが不正確	31
ミス5 製品や製造元の詳細情報を記載していない	36
ミス6 生物名を記述する際に二名法の慣例を守っていない	37
2 専門用語のミス	44
ミス7 意味が類似した用語を混同している	44
ミス8 専門用語のコロケーションがおかしい	51
ミス9 文脈や分野によって異なる意味を持つ用語に対する理解不足	69
ミス10 専門分野に特有の表現を理解していない	74
ミス11 すたれてしまった時代遅れの用語を使う	78
ミス12 国際的に一般的ではない用語を使う	81
ミス13 論文にふさわしくない非科学的用語を使う	84

Chapter 2 人文科学・社会科学分野のミス

校正にトライ	90
1 スタイルや慣例のミス	97
ミス14 大文字と小文字の使い分けが不正確	97
ミス15 人文科学で許容される表現の理解不足	104
ミス16 専門分野に特有の時制の使い方を理解していない	106
ミス17 言語学の記号の使い方が不正確	110
ミス18 強調のための斜体や引用符を使いすぎる	112
ミス19 数式などの表記ルールを忘れてしている	114
2 専門用語のミス	116
ミス20 イギリス英語とアメリカ英語を使い分けられていない	116
ミス21 コロケーションがおかしい	119
ミス22 専門用語の使い方が不正確	125

Chapter 3 物理学・化学・工学分野のミス

校正にトライ	148
1 スタイルや慣例のミス	154
ミス23 大文字と小文字の使い分けが不正確	154
ミス24 記号の使い方が不正確	162

ミス25	立体や斜体、スペースなどの使い方が不正確	168
ミス26	数学などの論文で変数が定義されていない	172
2	専門用語のミス	174
ミス27	つづりや意味などが類似した用語を混同して使う	174
ミス28	専門用語の使い方が不正確	181
ミス29	専門分野に特有の表現を理解していない	184
ミス30	主語と動詞の呼応がおかしい	190
ミス31	専門用語のコロケーションがおかしい	192

Chapter 4 その他の学術原稿のミス

1	学会ポスターのミス	196
ミス32	タイトルが曖昧で興味を持ってもらえない	196
ミス33	文字の色やサイズがタイトルにふさわしくない	198
ミス34	レイアウトが視線の自然な流れに合っていない	199
ミス35	文字の詰め込みすぎで余白がない	201
ミス36	視覚的要素が過剰で読みづらい	203
ミス37	見直しが不十分でミスが残っている	204
2	学会発表論文のミス	205
ミス38	原著論文と同じように書いてしまう	205
ミス39	タイトルや内容が学会のテーマにふさわしくない	207

3	助成金獲得のための研究プロポーザルのミス	208
ミス40	研究内容が助成機関のミッション実現に貢献しない	208
ミス41	助成機関を説得するためのポイントが欠けている	210
ミス42	専門用語の使いすぎで審査するメンバーに内容が伝わらない	218
ミス43	助成機関のガイドラインにしたがっていない	219
4	志望動機書 (SOP) のミス	220
ミス44	自分自身についての基本的な情報が欠落している	220
ミス45	志望動機が紋切り型で具体性に欠ける	221
ミス46	文体や表現が志望動機書にふさわしくない	222
ミス47	曖昧な表現や美辞麗句を使う	224
ミス48	効果を考えていない引用句が多い	226
5	書評のミス	231
ミス49	書籍がジャーナルの対象範囲と合っていない	231
ミス50	著者や書籍の背景に関する情報が欠落している	232
ミス51	批評として公正さを欠いている	234
ミス52	書籍の内容の繰り返しになっている	237
6	症例報告のミス	238
ミス53	症状や治療についての背景説明が不十分	238
ミス54	症例の詳細 (case description) に必要な情報が不足している	241
ミス55	症例の新奇性が強調されていない	246
ミス56	読者が考察に求める情報が欠落している	249

Chapter 5 査読者・ジャーナル編集者のミス

1 査読者のミス	254
ミス57 論文を十分理解せずに査読コメントを書く	255
ミス58 コメントの根拠が示されていない	257
ミス59 論文の悪い点だけを指摘し、よい点に触れない	261
ミス60 文体が査読コメントにふさわしくない	263
2 ジャーナル編集者のミス	269
ミス61 投稿規定に矛盾があってわかりづらい	269
ミス62 論文の投稿システムや審査プロセスに関する情報がない	272
ミス63 著者とのコミュニケーションが不十分	274
ミス64 リジェクトの理由が説明されていない定型レターを送る	275
問題にトライ 解答・解説	277

Chapter 4と5の内容の一部は、エディテージの著者向け啓発サイト、エディテージ・インサイトの記事を再構成したものです。

編集協力 ————— 上杉和歌子、Nicholas Walker (ロゴボート)、共同制作社

装丁・本文デザイン — 相京厚史・大岡喜直 (next door design)

装画 ————— 龍神貴之

組版 ————— 株式会社創樹